

STROBE Statement—横断研究の際に含めるべき項目チェックリスト

* 原版は <https://www.equator-network.org/> からダウンロードしてください。

	Item No	Recommendation	Page No
Title and abstract	1	(a) タイトルや要約で一般的に使用されている用語により研究デザインを示す (b) 行ったこと、明らかになったことについての十分な情報かつバランスのとれた要約を提供する	
Introduction			
Background/rationale	2	報告されている調査の科学的背景や根拠を説明する	
Objectives	3	事前に指定される仮説を含む明確な目的を述べる	
Methods			
Study design	4	論文の早い段階で研究デザインの重要な要素を提示する	
Setting	5	場所（地域や施設等のセッティング）やリクルート、曝露、フォローアップ、データ収集の期間を含む日付を記載する	
Participants	6	(a) 対象者の適格基準、参加者選定のソースや方法を記載する	
Variables	7	アウトカム変数、曝露変数、予測変数、潜在的交絡、修飾変数を明確に定義する（該当する場合）	
Data sources/measurement	8*	対象となる各変数について、データソースと評価方法の詳細（測定尺度）を記載する。複数のグループがある場合、評価方法の比較可能性を説明する。	
Bias	9	潜在的バイアスに対処するためのあらゆる取り組みを説明する	
Study size	10	サンプルサイズを含む研究のサイズ（範囲）をどのように設定したかを説明する。	
Quantitative variables	11	分析における量的変数の処理方法について説明する。該当する場合、どのグループが選択されたのか、なぜそのグループが選択されたのかの理由を説明する。	
Statistical methods	12	(a) 交絡制御に使用される統計的手法を含むすべての統計的手法を記載する	
		(b) サブグループや交互作用を説明するために用いた方法を説明する	
		(c) 欠損データの対処方法を説明する	
		(d) 該当する場合、サンプリング戦略を考慮した分析方法を説明する	
		(e) 感度分析の説明	
Results			
Participants	13*	(a) 研究の各段階での標本数を報告する（例：研究内、フォローアップ完了者、分析対象者を含む、対象となる可能性のある数、適格性の確認）	
		(b) 各段階における不参加の理由を述べる	
		(c) フロー図の使用を検討する	
Descriptive data	14*	(a) 研究参加者の特徴（例：人口統計、臨床、社会的な点）や、曝露および潜在的交絡の情報を述べる	
		(b) 各着目変数の欠損データを含む参加者の数を示す	
Outcome data	15*	アウトカムイベントや測定尺度の集計数を報告する	

Main results	16	(a) 未調整の推定値と、該当する場合、交絡調整済みの推定値と精度（例：95%信頼区間）を示す。どの交絡因子が調整されたのか、なぜそれらの因子が含まれたのかを明確にする。 (b) 連続変数をカテゴリ変数に置き換えたときの境界を報告する (c) 関連する場合、相対的リスク推定値を意味のある期間における絶対リスク推定値に変換することを検討すること	
Other analyses	17	実施した他の分析を報告する（例：サブグループ分析、交互作用の検討、感度分析）	
Discussion			
Key results	18	研究目的を参照しメインの結果を要約する	
Limitations	19	潜在的バイアスや不正確さの原因を考慮し、研究の限界を述べる。潜在的バイアスの影響や程度の両方を議論する	
Interpretation	20	目的、限界、分析の多様性、類似研究の結果、他の関連する知見考慮した慎重な結果の全体的解釈を述べる	
Generalisability	21	研究結果の一般化可能性（外装性）を議論する	
Other information			
Funding	22	資金源と研究に対する資金提供者の役割を述べる。該当する場合、この研究が基づいている元の研究を提示する。	

*曝露群と非曝露群を分けた情報を提示する

Note: 説明及び詳細な記事は項目ごとに議論されており、方法論的背景が提示され、透明化された報告例が公表されている。STROBE チェックリストはこれらの記事とともに使用することが望ましい（アクセスフリー：PLoS Medicine の web サイト <http://www.plosmedicine.org/>、Annals of Internal Medicine の web サイト <http://www.annals.org/>、Epidemiology の web サイト <http://www.epidem.com/>）。STROBE Initiative の情報は www.strobe-statement.org で入手できる。

* 管理者が訳したものであり、使用する際は訳語の信頼性・妥当性には十分ご注意ください。

* 使用におけるトラブル等には一切の責任を負いかねます。